

7月9日(金曜日)

ドル/円

週末要因に注意

8日(木)の主な推移

チャート: 30分足 8日(木)朝6時 ~ 9日(金)朝6時

ダウ平均株価

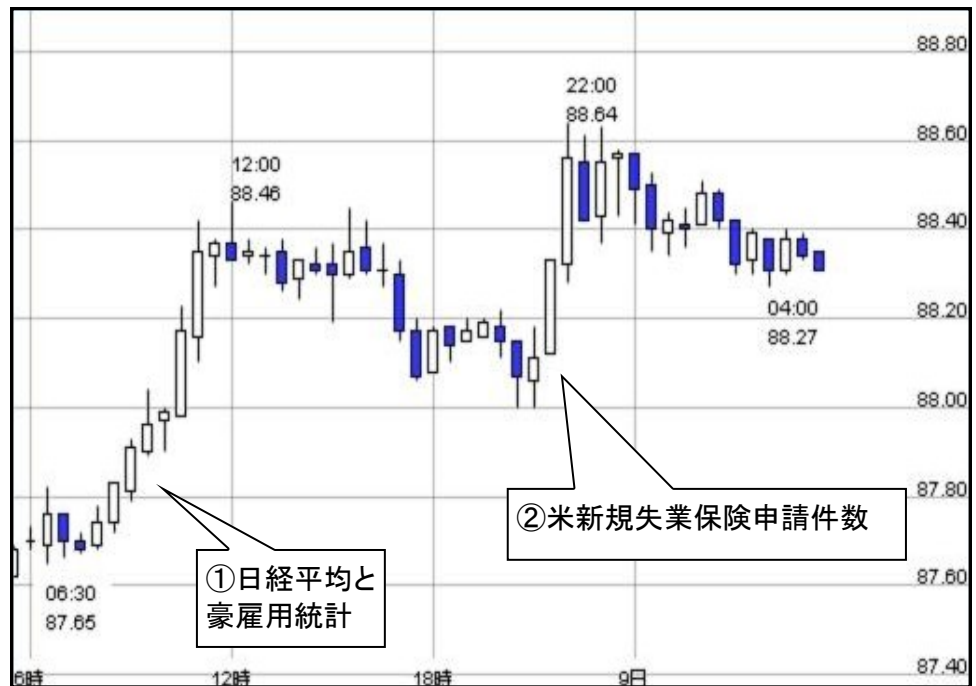
10138.99ドル  
(+120.71ドル)

米長期金利  
(10年債利回り)

3.0360%  
(+0.0503%)

NY原油先物

75.44ドル  
(+1.37ドル)



※チャートは30分足 日本時間にて表示 ※左表は終値ベース、( )は前日比  
出所:外為どっとコム

①

日経平均株価が寄り付きから180円以上の大幅な上昇となり、その後も上値を伸ばしたことを受け、ドル/円はじり高となった。また豪6月雇用統計により豪州での好調な雇用状況が示されると、豪ドル/円が急上昇したことに伴い、ドル/円は12時過ぎには88.46円まで上昇した。

②

米新規失業保険申請件数は45.4万人と市場予想(46.0万件)を下回る結果が好感され、ドル/円は22時過ぎに88.64円まで上昇した。しかし上値は重く、高く始まった米ダウ平均株価が上げ幅を圧縮すると、ドル/円はじり安となり、夜半過ぎには88.27円まで押し戻される場面が見られた。

### 上昇要因(ドル高・円安)

- ・米国経済の回復
- ・米長期金利の上昇
- ・米国の超低金利政策の長期化観測の後退
- ・金融市場全体のドル売りムードの緩和
- ・日銀の追加緩和観測
- ・日本の財政赤字への懸念

### 下落要因(ドル安・円高)

- ・米金融規制案への懸念
- ・米国の超低金利政策の長期化観測
- ・米長期金利の下落
- ・米国経済の回復の鈍化
- ・米財政赤字悪化懸念の高まり

### 本日の見通し

**本日の予想レンジ: 87.90— 88.90円**

本日のドル/円は米国では主だった経済指標の発表が予定されていないことから、主要国の株価に左右される展開が予想される。また本日は、週末を控えたポジション解消の動きにも注目したい。今週は週半ばまでドル/円は売られていたことから、もし動きが出るとすれば売りポジションの買い戻しにより、ドル/円が反発する局面も想定される。

そのほか、今晩は加6月の雇用統計が発表が予定されている。昨日は手掛かり材料難の中、豪6月雇用統計にて豪州の好調な雇用状況が示されたことで、豪ドル/円の急上昇がドル/円の上昇の一因となったことから、本日の加6月の雇用統計にも注目したい。(川畑)

### 本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 時間は「日本時間」

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表数値	市場予想
7/9(金)	20:00		(加) 6月失業率	8.1%	8.1%
	20:00		(加) 6月雇用ネット変化	+2.47万人	+2.00万人
	23:00		(米) 5月卸売在庫 [前月比]	+0.4%	+0.4%

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された 意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2010 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com